

会計教育センター レポート



初級簿記の授業風景

今年6月にオープンした会計教育センターの
前期の活動を報告します。

会計教育センターは、会計分野の知識・技術の習得をサポートすることを目的として2006年4月に開設されました。会計・簿記はビジネスでかかすことのできないコミュニケーションツールであり、その技能は業種職種を問わずあらゆるビジネスシーンで必要とされています。企業の経理・会計担当者を目指す人だけでなく、利益確保を求められる営業担当者、コスト管理が必要な管理者にも役立つものです。さらに公認会計士や税理士へのキャリアアップを目指すことも可能です。

会計教育センターの特色

1 修得単位は卒業要件に算入

2006年度会計教育センター開設科目

科目	内容	単位	
		必修	選択
初級簿記（3級程度）	基礎総合		4
中級簿記（2級程度）	A 商業簿記		4
	B 工業簿記		4
	C 実践		2
上級簿記（1級程度）	A 商業簿記		4
	B 会計学		4
	C 原価計算		4
	D 工業簿記		4
	E 実践		2

2 試験に向けた効率的な履修スケジュール

3 資格のプロがノウハウを伝授

4 検定試験料は大学が負担

5 合格者への成績評価ランクアップ

会計教育センターが目指す人物像

- 企業の経理・会計担当者
- 利益率を重視する営業担当者
- コスト管理を求められる管理者
- 公認会計士や税理士などの国家資格を目指す人
- 起業家

日商簿記検定対策の3コース

当センターでは今年度から、公的資格であり、社会的な評価も高い日商簿記検定の対策講座を以下の3つのコースで実施しています。本コースは、学部学生については、修得した単位は卒業に必要な単位に算入されます。

■ 初級簿記（3級程度）

経理関連書類の読み取りができ、取引先企業の経営状況を数字から理解できるレベルです。多くの学生が履修しやすいように年2回開講しています。

■ 中級簿記（2級程度）

初級簿記を履修し、さらにステップアップを目指す人を対象に商業簿記と工業簿記の講座を実施し、直前では試験対策を行います。

■ 上級簿記（1級程度）

税理士、会計士の登竜門である簿記検定1級合格を目指します。商業簿記、会計学、原価計算、工業簿記の4つの科目を1年かけて学習し、直前では試験対策を行います。

全国平均を上回った 3級試験の合格率

日商簿記試験は年間55万人が受

験しており、若年層の就職を支援する厚生労働省のYESプログラムにおいて、企業が採用するにあたって重視する就職基礎能力の1つである資格取得に認定されています。

6月11日（日）に長久手キャンパスにおいて日商簿記検定3級試験が行われました。試験結果ですが、本学の受験者数は448名で、合格者数182名、合格率40.6%（日商簿記の全国平均の合格率は35.0%）でした。今回の検定試験は来年2月25日に2級と3級を予定しています。